

RI第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



2012-2013

Mitsukaido R.C

50th Anniversary

2012-2013 年度 RI会長
田中作次

次回例会予定 8月 1日 ツウンバ派遣学生挨拶 他
8月 8日 会員増強月間

VOL. 50 No.4(通算No. 2325)

2012年7月25日(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

会員卓話 荒井孝典会員



写真提供:倉持孝幸様 常総市羽生町在住

2012-2013年度

会長 青木正弘

幹事 石塚克己

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>



THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.50 No.3 (No.2324) 7月18日(水)晴れ (司会 倉持功典委員長)
本例会での主な事項
☆会長挨拶 ☆2012-2013年度 委員会事業計画発表

誕生祝



《会 員》北村 仁会員



2011-2012年度 100%出席表彰



クラブ例会100%出席者 大串 卓会員 大塚令昌会員

青木清人会員 青木正弘会員 秋田政夫会員 飯塚三夫会員
石井康弘会員 石塚克己会員
海老原良夫会員 小島富雄会員 亀崎徳彦会員 北村 仁会
員 北村英明会員 熊谷 昇会員
倉持功典会員 五木田裕一会員 五木田益城会員 木幡 浩
会員 島田 勝会員 白井 豊会員 鈴木邦彦会員

隅屋祐三会員 染谷秀雄会員 登坂 寛会員 長塚 暁会員 福田克比古会員 松崎隆詞会員
山牟田 博会員

幹事報告 石塚克己幹事

週報受理クラブ 藤代RC
例会変更通知 なし

・回覧

- 2820 地区ローターアクト地区大会の御礼と大会誌
- 第11回日韓親善会議2次募集のパンフレット

臨時理事役員会報告

○8月15日(水)を移動例会とする⇒25日(土)納涼会 承認されました。

会長挨拶 青木正弘会長

今日は、田中作次 RI 会長が会長エレクト時代に世界中のロータリアンに送ったメッセージをお知らせします。

会員増強・維持は私たちロータリアンの責務です。ロータリーが末永く成功し続ける団体である為には、

THE WEEKLY REPORT



世界中のすべてのロータリークラブ会員一人ひとりがロータリアンであることの意味をよく理解し、その価値を入会候補に説明しなければなりません。

そのためにご自身の「心に残るロータリー体験(ロータリー、モーメント)」をまとめ、語る事が大切です。

従来、私たちロータリアンは謙虚さを尊ぶあまり自分たちの今までの功績を人に伝えることを躊躇する傾向がありました、しかしロータリーが達成してきたことを身近な人たち、そして世界に向かって積極的に発信しなければならない時期が来ていますとの内容でした。

私が入会した17年前とはだいぶ変わってきた様な気がします。あるいは変わらざるを得なかったのかも知れません。

確かに同じような活動をしている団体は他にも沢山ありますが、他の団体と比べるとロータリークラブのPR活動は地味というか、少ないというか、もう少し積極性が必要かと思っておりますので、広報委員会の更なる頑張りに期待しながら各委員会の皆さまも自分たちの事業を出来るだけクラブの外にアピールして頂きたいと思っております。

2012-2013年度 事業計画

会員増強委員会 白井 豊委員長



会員の増強はクラブ発足以来、永遠のテーマとして揚げられて参りました。近年地区は基より、日本全体としても会員数は減少しております。昨年の東日本大震災の影響、世界経済の驕り等、新規会員の獲得は困難を極めております。しかしながら当クラブはここ迄、過去の委員長の努力も有り、常に現状を維持しております。今年度も会員各位にご協力をお願いして努力して参る所存です。

1. 職転業分類委員会、会員選考委員会及びロータリー情報委員会と連絡を密に取り新会員の獲得に向け活動を進めて行く。
2. 地区の純増目標2名を目指し、会員の入会を促進する。

3. 現会員に対しては万全のフォローを実施して退会を未然に防止する。

4. ロータリーファミリーとしての啓蒙を図る。

以上の4点に留意して今年度の委員会活動を致します。

出席委員会 北村陽太郎委員長



ロータリーは「まず例会出席から」と言われるように、ロータリアンの三大義務の一つである。

「例会の出席」の向上を本年度の最大の目標にしたいと思います。

さらに、本年度は例会時の弁当の無駄を少なくするために、無断欠席を無くすことを目指したいと思います。

全会員の協力をお願い申し上げます。

プログラム委員会 倉持功典委員長

プログラム委員会は、会長のワンポイントメッセージに沿って、楽しい例会の企画、運営をしたいと思います。

外部卓話と会員卓話、さらに会長経験者の卓話もお願いしたいと考えております。

会員の皆様には、外部卓話者のご紹介宜しくお願い申し上げます。



THE WEEKLY REPORT

雑誌委員会 秋田政夫委員長



ロータリーの友は、RIから1980年に正式に承認を受けた地域雑誌として「日本全国のロータリアンやクラブを一つに結ぶ絆」として広く愛読され、その役割を果たしております。内容、構成につきましては、横組みページと縦組みページから成り立ち、横組みページは国際ロータリーの公式行事やRIからの指定された記事、またロータリー月間に関するものが掲載され、縦組みページは国内のロータリー情報や会員相互の意見交換、すなわち情報交換の様子が掲載されています。

雑誌委員会では、ロータリーの友によってクラブ会員が奉仕活動の多様性を更に認識を深めるよう、また公共イメージアップの為に公共施設等への配布に努めて行きたいと考えています。

また、本年度は特にクラブ発足50年目を迎える記念すべき年度となりますので、ロータリーの友への投稿を是非実行していきたい。

社会奉仕委員会 古矢 満委員長



社会奉仕委員会は、地域社会の啓発事業を主として行い、地域社会の活性化に一役できる取り組みをロータリー精神のもと勧めていきたいと思っております。

主たる事業としましては、

1. 継続事業としてのグランドゴルフ大会への協力
2. 赤い羽根、歳末助け合い募金への協力
3. バザー(市民文化祭)への協力
4. 地域社会で隠れた奉仕活動をしている方々への協力及び支援活動

国際奉仕委員会 登坂 寛委員長



当委員会は、本年度もツウンバとの交換学生の事業を中心に活動しく予定であります。

具体的には

1. ツウンバRCへの短期交換学生の派遣。
2. ツウンバRCからの短期交換学生の受け入れ。
3. 地区国際奉仕委員会の海外奉仕プロジェクトへの参加、協力の検討。を計画しています。

新世代奉仕委員会 北村英明委員長

青少年に係わる過去に例のない事件や、社会が不安になるような出来事が頻発している現代社会で、次の時代を担う青少年を健全に導き、未来のリーダーたる人達を育成することも我々ロータリークラブの大きな責務と考えます。



当委員会では、この考えのもと以下のような活動を行いたいと思っております。

1. インターアクト・ローターアクト活動の事業PR
2. ライラセミナーへの積極的な参加推進
3. ボーイスカウト・ガールスカウト活動への助成
4. 国際奉仕委員会のツウンバ交換留学活動へのバックアップ

THE WEEKLY REPORT

ロータリー財団 福田克比古委員長



ロータリー財団は、国際ロータリーの慈善部門で、教育的・人道的補助金・ポリオプラスの三大プログラムを掲げ、世界理解・親善・平和を達成するため活動している。

財団委員会は、社会奉仕と国際奉仕において、プログラムの参加と寄付を通じ財団を支援することを目的としており、会員の皆様にはこの事を理解していただき、目的達成にご協力をお願い致します。

寄付目標

1. 財団寄付 110ドル、ポリオ寄付 20ドル
会員一人当たり 合計 130ドル
2. ベネファクター 1000ドル 1名以上

米山記念奨学会 亀崎徳彦委員長



今年度も前年度に引き続きカウンセラー青木清人会員のもと米山奨学生の全志英さんを支援することになっております。

米山記念奨学事業は【留学生が平和を求める日本人と出会い、信頼を築く】の目的に沿って始められ、【日本ロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業】と高く評価されていることに誇りを持って活動したいと考えております。

具体的な活動内容としては

1. 寄付金の低迷により年間 800 名の奨学生を維持することが難しい財政状態で、

今年度は

700 名を受け入れますと言う報告を聞いております。

以上の趣旨をご理解頂き 会員 1 名あたり普通寄付5,000円と特別寄付20,000円の支援をお願いします。

2.特別寄付に関して、個人寄付か法人寄付かを確認し 税制上の優遇措置を説明いたします。

3.過去奨学生を多く母国に送り出しておりますので、ホームカミング制度(里帰り制度)の申請をし 米山記念奨学会より(渡航費用・宿泊費用)の負担の特典を利用し 是非 現況報告を兼ねた卓話をお願いできればと考えております。

以上の通り米山奨学会について会員の皆様には、より一層理解の程お願い致します。

出席報告 (北村陽太郎委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
57名	43名	14名	0名	8名	89.47%

ニコニコボックス (五木田裕一委員長)

入金計 ¥67,000 累計¥292,000

誕生祝御礼<<会員>>北村(仁)会員

100%出席表彰 大串・大塚・青木(清)・青木(正)・秋田・飯塚・石井・石塚(克)・海老原・小島・亀崎・北村(仁)・北村(英)・熊谷・倉持・五木田(裕)・五木田(益)・木幡・島田・白井・鈴木(邦)・隅屋・染谷(秀)・高須・登坂・長塚・福田・松崎・山牟田 各会員

本日早退します。 瀬戸・染谷(昭) 各会員

例会欠席しました。 福田会員

会報委員会 松崎隆詞委員長 五木田利明副委員長 高須 薫委員

奉仕を通じて平和を



朋友ロータリアンの皆さん、私の世代は、戦後に日本で育った最初の世代です。平和を重視するのは当然のことだと思います。自らの国の軍国主義の結末を経験した私たちの世代は、日本が平和を選ぶ大きな決断をした結果、目覚ましい経済発展を遂げていくのも目にしました。

この決断があつてこそ、日本は成長と繁栄を遂げることができたと思います。そのおかげで、子どもたちの世代が安全な環境で成長し、教育を受け、暮らしを向上させることができたのです。また、この決断によって他の国や文化に対する日本人の見方は根本的に変わりました。日本人は心を開き、より寛容になり、もっと深く世界を理解するようになりました。



個人のニーズより、社会のニーズ

さらに、平和を選択したことによって、私たちは前向きな目標に力を注ぐことができるようになりました。

個人のニーズより社会のニーズを重視するのは、日本の文化と切り離せない、伝統的な価値観です。2011年3月に起こった大地震と災害後、数週間、数か月間、私たちが生き延び、復興に努力できたのも、この価値感があつたからです。

これは、日本以外の国々にとっても、良い教訓であると思っております。他者のニーズが、自分自身のニーズよりも大切だと思い、社会全体のための共通の目標に向かって力を合わせるようになるれば、すべてが変わるのです。世界との関わり方が変わります。何を優先するのが変わります。そして、平和の概念をどのように理解するのが変わります。

2012-13年度には、「平和」が私たちの焦点であり、目標です。皆さんには、「奉仕を通じて平和を」もたらすため、積極的に活動していただくようお願いいたします。

他者への尊重の気持ちは平和な暮らしをもたらす

ロータリーの中核にあるのは、奉仕の力に対する信念です。奉仕を優先することで、自分よりも他者のニーズが優先され、人々が抱える困難に対し、深い同情の心が生まれます。自分の時間やリソースを惜しみなく与え、新しい考え方に対してもさらに心を開くことができます。他人を変えようとするのではなく、すべての人やものから学ぶことがあると認識することです。

奉仕を通じて、私たちは、互いの違いに対して寛容になり、周囲の人に対して感謝の気持ちを抱くようになるでしょう。そして、もっと相手を理解し、あらゆる人の中に善を見いだすことができるでしょう。こうした理解から生まれる他者への尊重の気持ちは、平和な暮らしをもたらすのだと思います。

今年度、「奉仕を通じて平和を」の精神をもって、ロータリーの目標である平和な世界に向けて邁進していただくよう、よろしくお願い申し上げます。

SAKUJI TANAKA

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL